

まなぶんか

2023
SUMMER
No.41

宮崎市佐土原歴史資料館

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

祝
開館 30
周年!!

Contents

P.02 宮崎市佐土原歴史資料館 &
宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館
祝 開館30周年!!

P.06 企画展
もぐもぐ探検隊
～“くち”から“おしり”まで～
職員のひとりごと

P.07 イベントスケジュール

P.08 まなぶんかQUIZ

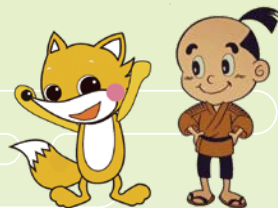
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

公益財団法人宮崎文化振興協会は持続可能な
開発目標 (SDGs) を支援しています。

祝 開館30周年!!

宮崎市佐土原歴史資料館 &
宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

宮崎市佐土原歴史資料館は6月、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は11月に、開館30周年を迎えます。これからも、皆さまに地域の歴史を分かりやすく伝えていく場所として頑張っていきます!



ごあいさつ

宮崎市歴史資料館館長 永井 淳生



本年、宮崎市佐土原歴史資料館と宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、開館から30年を迎えます。両館は、宮崎市との合併前の平成5年(1993)、旧佐土原町・旧高岡町の史跡「佐土原城跡」・「天ヶ城址」にそれぞれ設置されました。

佐土原歴史資料館は、城館を再現した鶴松館に古代～近現代の通史や佐土原城を、外観が三層四階構造の城となっている天ヶ城歴史民俗資料館は、人々と大淀川との関わりを展示構成にしていることが特徴です。両館ともに、定期的に開催する企画展の他、旧跡や日本の伝統文化等に触れられる各種のイベント・体験学習を実施しています。

今後も、両館の特徴や地域性を活かしながら、資料館の役割を十分に発揮できるような運営を心掛けてまいります。

宮崎市佐土原歴史資料館って どんなところ?

この地には室町時代頃から城が造られ始め、山城の地形から鶴松城と呼ばれることもありました。伊東氏は島津氏との戦いに敗れ、1600年の関ヶ原の戦いの後、垂水領主島津以久が佐土原に入り、佐土原藩初代藩主となりました。

「鶴松館」は佐土原城二の丸居館の一部を再現した建物です。掛軸・屏風・鎧兜といった佐土原島津氏の調度品を展示するとともに、地元に残る佐土原人形をはじめ、全国の土人形が一堂に集められたコーナーもあります。



国指定史跡「佐土原城跡」の天守台。南九州の城で唯一となる天守の存在が確認されました。

宮崎市佐土原歴史資料館

住所/宮崎市佐土原町上田島8227-1

TEL/0985-74-1518

開館日/土日・祝日

(5/15~6/14は特別開館期間につき休館日なし)
年末年始(12/29~1/3)は休館

開館時間/9:00~16:30(入館は16:00まで)

入館料/無料

DATA



タンゴ

(宮崎市佐土原歴史資料館マスコットキャラクター)

島津の守り神はキツネで、島津氏初代・惟宗忠久は、住吉大社稲荷社の狐火に守られながら生まれたのだとか。忠久は源頼朝の子どもという言い伝えがあり、書物も残っているよ。タンゴという名前は、忠久の母「丹後局」から名付けられたんだ。

宮崎市佐土原歴史資料館のここに注目!



大広間の兜

よく見るとキツネが乗っています。キツネは島津のお殿様たちにとって守り神として大事にされていました。



学習館教科書

江戸時代の佐土原にあった学校「学習館」で使われた教科書です。漢字ばかりですね。武士の人たちはこのような教科書で勉強をしていたのです。



自動ピアノ

鶴松館に所蔵展示してある米国製自動演奏ピアノは、大正5年(1916)に島津久範氏が養子縁組で佐土原に来られた際の持参品です(久範氏は鹿児島 島津忠義氏の七男)。足踏みで風を送りながら紙製のソフトロールを回転させ、演奏させる仕組みになっています。



楽しい体験がいっぱい!

体験コーナー

神代独楽回し



鶴松館内で神代独楽を回すことができます。ひもを巻くのが少し難しいですが、職員が教えます!うまく回せるとブーンという音がします。

お殿様になる



鶴松館大広間のお殿様の席は座って写真を撮ることができます。

体験学習

うずら車の絵付け体験



8月20日(日) 10:00~12:00
対象:子ども(小学生以上)と保護者・一般 20名
参加費:600円
募集期間:7月20日(木)~7月29日(土)

うずら車はうずらをモチーフにした佐土原の伝統的なおもちゃです。古くは佐土原にある久峰観音や鬼子母神のお祭りで売られていました。

お城でコンサート



10月19日(木) 19:00~20:00
対象:子ども(小学生以上)と保護者・一般 40名
参加費:無料
募集期間:9月18日(月・祝)~9月27日(水)

風情のある空間で聞く演奏は、コンサートホールとは違った良さを味わうことができます。

商家資料館「旧阪本家」



阪本家は、江戸時代から味噌・醤油製造、刻煙草の販売を営む商屋で、この建物は明治38年(1905)に建てられました。佐土原藩城下商人町の一つ新町にあります。建築当時は珍しい2階建ての建物で、1階は店舗、2階は宴会などを行う場として使用されていました。平成20年(2008)には、宮崎市景観重要建造物に指定されました。





宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館ってどんなところ？



【天ヶ城遠景】
大淀川右岸から望む天ヶ城



桜の名所としても知られています。



【大手門跡付近】
公園内には曲輪などの遺構も残っています。

当館は、平成5年(1993)11月6日に、桜の名所である「天ヶ城公園」内に誕生しました。天ヶ城公園一帯は、慶長5年(1600)、島津氏第17代島津義弘が久津良名(現高岡町中心部)を城地に取り立て、「天ヶ城」と命名したとされる山城で、当館付近は本丸跡に位置します。資料館の建物は城高12m、4階建ての近世城郭型となっており、旧高岡町のシンボルとして建てられました。

1~3階展示室では、大淀川とともに生きてきた旧高岡町の人々の生活ぶりや、中近世の高岡・穆佐の武家社会の様子などを紹介しています。また、4階展示室は、360度眺望ができる展望台となっており、天気の良い日は霧島連峰や日向灘などを望むことができます。



外記どん
(宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館マスコットキャラクター)

モデルとなったのは、江戸時代に実在した東郷外記さん。高岡のとんち者だったんです。

【跡江の半平どんのお話です。】

「辻の外記どんのとんち話」

ある日、外記どんは半平どんに、家の近くでタヌキのびんた(頭)に蜂が巣を作っていることを話しました。半平どんは驚き、見せてほしいと外記どんに言います。外記どんはすました顔で、いつでも来てくださいと言って別れました。

約束の日、外記どんは半平どんを連れて、さこ(段々になっている山間の田)に登り始めました。タヌキはいつかに見当たりません。半平どんは、まだかと外記どんに言いますが、外記どんは、そこだ、そこだと自信ありげに言って、とうとう田を抜けて頂上に着きました。するとちょうどそこに、蜂が巣を作っていました。外記どんは、田抜き(タヌキ)に蜂が巣をつくっているの？と言って、半平どんに一ぱい食わしたということです。

※本文は、たかおか編集委員会・高岡を語る会「郷土史たかおか 郷土民話特集号 第8号」中窪印刷所1995より抜粋・要約したものです。

DATA

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

住所/宮崎市高岡町内山3003-56

TEL/0985-82-2950

開館日/土日・祝日

(3/15~4/14は特別開館期間につき休館日なし)
年末年始(12/29~1/3)は休館

開館時間/9:00~16:30(入館は16:00まで)

入館料/無料

楽しい体験がいっぱい!

天ヶ城で遊ぼう!見つけよう!



天ヶ城公園

当館は天ヶ城公園内にあります。ブランコや滑り台など子どもたちが楽しめるさまざまな遊具があります。



2階のジオラマ模型

慶長5年(1600)の関ヶ原の戦い以降の高岡は、明治まで武家(郷士)を中心とした社会が繰り広げられました。この模型は、ある夏の日の江戸時代の高岡を中心にイメージして作られています。ボタンを押すと高岡の1日が始まります。実は動物たちもたくさん隠れています。見つけてみてね。

体験学習



夏休み図画工作作品を作ろう

8月6日(日) 10:00~12:00
対象:子ども(小学1年生~4年生)と保護者 15名
参加費:1人100円
募集期間:7月6日(木)~7月15日(土)
様々な美術の表現技法を使って図画工作をします。



弓矢づくり

9月10日(日) 10:00~12:00
対象:子ども(小学生以上)と保護者 15名
参加費:無料
募集期間:8月10日(木)~8月19日(土)
竹で手作りの弓矢のおもちゃをつくります。



高岡歴史かるたで遊ぼう 第2回

9月3日(日) 10:00~11:30
対象:小学生から大人まで 15名
参加費:無料
募集期間:8月27日(日)まで
高岡の歴史や文化をテーマにした「高岡歴史かるた」で遊びます。10月8日(日)に第3回、11月5日(日)に大会があります。



高岡麓のまちなみを歩こう

10月15日(日) 10:00~12:00
対象:小学5年生以上(小学生は保護者同伴)・一般 20名
参加費:無料
募集期間:9月15日(金)~9月24日(日)
高岡麓を歩きながら高岡の歴史を学びます。

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館のここに注目!



帆掛け舟 (1/2サイズ模型)

高岡～宮崎の間の大淀川で利用した川舟です。行きは流れにまかせて下り、帰りは帆をかけて風力で川を上りました。春から夏にかけて東風が吹く頃に使用され、大淀川の風物詩でした。



としょういちばんたいき 外城一番隊旗

慶応4年(1868)1月、薩摩藩と長州藩を中心とする新政府軍と旧幕府軍との間で戊辰戦争が勃発しました。高岡郷士(高岡郷に居住する武士)は、「外城一番隊」に組織され、薩摩藩兵の一員として、鳥羽・伏見の戦いから東北地方の各地を転戦しました。



田の神様

田の神様は、薩摩藩領内を中心に広がった農村信仰のひとつで、作物の豊作を祈るものです。神官型(神官の姿をしたもの)

や農民型(手にシャモジを持ち、中腰になり踊る姿をしたもの)などがあり、春と秋に、農作物を使った料理や焼酎などを供えて祈りました。高岡では、田の神様が多く残っています。



開館30周年記念企画展 出張! 2館合同収蔵品展

この企画展では、主に近世以降の佐土原と高岡の歴史やつながり、そしてそれぞれの地域を代表する偉人に関する資料を展示します。

展示期間

令和5年12月(予定)
宮崎市佐土原歴史資料館
令和6年3月(予定)
宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館



展示予定の収蔵品をほんの少しご紹介!

佐土原 佐土原藩領図掛軸

江戸時代の佐土原藩領が書かれた絵図です。現在の西都市や新富町、宮崎市の一部も佐土原藩領であった様子がこの絵図からもわかります。掛軸全体は高さ2m以上にもなるとても大きな資料です。



佐土原

とうけおんだいき 當家御代記 (文化九年九月写)

佐土原藩の初期～中期頃の歴史について書かれた書物です。佐土原藩三大騒動の1つ「松木騒動」に関わる人物たちについての記述もあります。

松木騒動

簡単に説明すると5代目の藩主を誰にするかという家督争いです。この争いは佐土原藩内だけでは解決できず、宗家鹿児島島津氏も巻き込み、最終的には死者を出す大きな事件になりました。この騒動では数人が処分のため鹿児島島津氏の領地である高岡へ送られました。



天ヶ城

「高木兼寛」着衣の海軍軍医大礼服(複製)

海軍や一般の公式な催し、集会、会合などに着用する礼服です。本資料は、高木兼寛が着衣した大礼服の複製です。

原資料: 東京慈恵会医科大学学術情報センター史料室蔵

※展示資料が変更となる場合もあります。



食べ物になって、体の中を探検だ！

宮崎科学技術館
イベント紹介！



もぐもぐ探検隊！

～“くち”から“おしり”まで～



7/22 ▶ 8/31
土 木

- 時間 9:30～16:00
- 会場 宮崎科学技術館1階 多目的ホール
- 料金 入館料のみ【大人:550円 子ども:210円(3歳以下無料)】
※ただし8月5日(土)・6日(日)は、「青少年のための科学の祭典」開催に伴い、1、2階の入館料が無料となるため、参加料金は大人・子ども共に100円

大きな口
ゲート



胃の中の
ボールプール

こ…これはっ!!

すべ
食道滑り台

Column

職員のひとりごと

宮崎科学技術館 業務課主査 重久佳穂

私が初めて天ヶ城歴史民俗資料館と佐土原歴史資料館を訪れたのは、5年以上前のこと。

天ヶ城では展望台からの光景に驚いたのを覚えています。その日は快晴で、目の前に広がる山々に囲まれた宮崎市と遠くに見える水平線に目を奪われ、しばらくそよ風にあたりながらお話ししたり、カメラにその光景を収めたりしました。資料館の1階には、当時小さな企画展を開催していたような記憶があります。私は、歴史というと少し難しく感じてしまうのですが、そのとき見た歴史資料には「なんかこれかわいい！」と言っていたような(笑)

歴史館巡り最後に訪れた佐土原は、西日が強い時間帯だったにも関わらず、館内は涼しさを感じる和室でゆったりとした時を過ごしました。佐土原の歴史を聴くとともに、これまたかわいらしい伝統工芸品の佐土原人形を見せていただいたことも印象深い思い出です。

郷土の歴史に少し足を踏み入れると、意外な発見や楽しみを見つけられます！ぜひ30周年を迎える両資料館へ訪れてみてはいかがでしょうか。

各館問い合わせ先



宮崎科学技術館 ()内は団体料金
展示室【大人550円(430円)小人210円(170円)】
展示室とプラネタリウム【大人760円(600円)小人310円(250円)】
〒880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2
TEL 0985-23-2700 FAX 0985-23-0791
<https://cosmoland.miyabunkyo.com>



宮崎市歴史資料館 <https://rekishi.miyabunkyo.com>
問合せは宮崎市生目の杜遊古館 0985-47-8001

宮崎市生目の杜遊古館〈入館料無料〉
〒880-2101 宮崎市大字跡江4200番地3(生目古墳群隣接)
TEL 0985-47-8001 FAX 0985-47-8202



宮崎市佐土原歴史資料館〈入館料無料〉
〒880-0301 宮崎市佐土原町上田島8227番地1



宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館〈入館料無料〉
〒880-2221 宮崎市高岡町内山3003番地56



大淀川学習館〈入館料無料〉
〒880-0035 宮崎市下北方町二反五瀬5348番地1
TEL 0985-20-5685 FAX 0985-22-8481
<https://oyodo.miyabunkyo.com>



宮崎市民プラザ
〒880-0001 宮崎市橋通西1丁目1番2号
TEL 0985-24-1008 FAX 0985-29-2244
<https://www.siminplaza.com>

「まなぶんか」
とは

“文化”を英訳するとCulture。語源はラテン語で“耕す”を意味するColereです。当協会では、管理運営している6つの教育文化施設と協会事務局が、市民の皆様の学ぶ心を“耕す”役割となれるよう、「学ぶ」と「文化」を合わせた「まなぶんか」を機関誌名としました。

イベントスケジュール

各施設のイベントにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため運営方法等が変更になる場合がございます。ご来場の際には、各館のホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

●宮崎科学技術館 Facebook、 Twitter、 Instagramもチェック!!

【企画展】星と海～太平洋に伝わる航海術～展

星を頼りにした伝統的航海術について、パネルなどの展示を行います。普段は見ることのできない南半球の星空の写真もお楽しみください。

【日時】7月22日(土)～8月24日(木) 9:00～16:30 【対象】どなたでも
【料金】入館料のみ



青少年のための科学の祭典2023宮崎大会

実験や工作のブースがたくさん並び科学のお祭り。夏休みの自由研究のヒントにも!
【日時】8月5日(土)・6日(日) 9:30～16:30
【対象】どなたでも
【料金】展示室のみ無料
※プラネタリウム観覧には大人210円 小人100円が必要
※整理券の必要なブースあり。



ドローンサッカー大会

3人1チームとし、1回の大会につき6チームで行います。
【日時】8月12日(土)・13日(日) 9:00～16:00
【対象】どなたでも 【定員】先着順
【料金】入館料のみ(3歳以下無料)



中秋の名月大観望会

“中秋の名月”に合わせて月の魅力を望遠鏡で楽しむ。
【日時】9月29日(金) 19:00～21:00
【対象】どなたでも 【料金】無料

宮崎科学技術館 月曜日(休日の場合を除く。ただし8/14は開館)、他 7月18日(火)、7～10月休館日 8月16日(水)、9月19日(火)・26日(火)、10月11日(水)

●大淀川学習館 Facebook、 Instagramもチェック!!



【わくわく工作】七夕飾りを作ろう!

色紙などで七夕飾りを作り、笹に飾ります。
【日時】7月1日(土) 10:00～11:00
【対象】どなたでも(保護者同伴) 【定員】15セット
【料金】1セット:200円 【申込】先着順



いきものとのふれあい&よみかかせ

季節に合わせた生き物や植物がテーマの絵本の読み聞かせと、関連したお話があります。
【日時】7月12日(水)、8月9日(水)、9月13日(水)、10月12日(木) 10:00～10:30
【対象】未就学児とその保護者 【料金】無料



【企画展】森の生き物と仲良くなる! カブトムシ・クワガタムシ展

毎年大人気の企画展です。大淀川流域や世界各地でみられるカブトムシ・クワガタムシを特設会場に展示します。
【日時】7月15日(土)～8月27日(日) 9:00～16:30
【対象】どなたでも 【料金】無料



【企画展】よく見てみよう! ちよっぴり かわいい生き物&うんち展

普段見ることが少ないヘビやゴキブリなど、一般的に嫌悪されたり、怖がられたりする生き物や排泄物の展示をします。
【日時】9月16日(土)～10月29日(日) 9:00～16:30
【対象】どなたでも 【料金】無料

大淀川学習館 月曜日(休日の場合を除く。ただし8/14は開館)、他 7月18日(火)、7～10月休館日 8月16日(水)、9月19日(火)、10月11日(水)

宮崎市歴史資料館

お申し込みの際は、各施設ホームページ・チラシで募集期間・申込方法などを確認の上、お申し込みください。

●宮崎市生目の杜遊古館 Facebook、 Instagramもチェック!!

【体験学習】昔の生活から学ぶアウトドア活動

火をおこし、煮炊きをすることで食と暖を得ます。ローワークを知ってタープを張り、雨露をしのぎ、日差しを遮る術を体験します。
【日時】8月27日(日) 13:30～15:30 【対象】子ども(小学生以上)と保護者
【定員】30名 【料金】1人:500円 **要申込** **申込期間:7/27(木)～8/5日(土)**



歴史文化講座⑤

講師:永井 淳生(生目の杜遊古館館長)
テーマ:「文化財二ホト～こぼれ話・保護と活用編～」
【日時】9月2日(土) 10:00～11:30
【対象】一般 【定員】50名 【料金】無料
要申込 **申込期間:8/19(土)まで**

【わくわく学芸員講座】布兜を作ろう

兜の歴史についての話の後に、布で兜を作ります。
【日時】9月18日(月・祝) 13:30～15:00
【対象】子ども(小学3年生以上)と保護者・一般 【定員】15名 【料金】1個:500円
要申込 **申込期間:8/18(金)～27日(日)**



【体験学習】古墳ウォークラリーとカレー炊飯

身近にある史跡を巡って歴史を学び、カレー作りと飯盒炊飯体験をします。
【日時】10月9日(月・祝) 9:30～13:30
【対象】子ども(小学生以上)と保護者
【定員】10組 【料金】1人:500円
要申込 **申込期間:9/9(土)～18日(月・祝)**

| | | |
|--------------|------------------------------|--|
| 7～10月 休館日 | 宮崎市生目の杜遊古館 | 月曜日(休日の場合を除く。ただし8/14は開館)、他 7月18日(火)、8月16日(水)、 9月19日(火)、10月11日(水) |
| | 宮崎市佐土原歴史資料館 宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館 | 月曜日から金曜日まで(休日に当たる日、特別 開館期間を除く。ただし、8/14・15は開館) |

●宮崎市民プラザ Facebook、 Twitterもチェック!!

宮崎市民プラザ文化芸術企画事業

市民プラザ寄席 一之輔・歌春二人会



毎年恒例、宮崎出身で落語家の桂歌春師匠プロデュースによる寄席。今回は、日本一チケットが取れないと言われている落語家 春風亭一之輔さん、本県出身の落語家 桂歌春さん、浪曲師の玉川太福さん、落語家の桂竹千代さんが出演。



【日時】11月5日(日) 開場13:30 開演14:00 終演16:15(予定)

【会場】宮崎市民プラザ オルブライトホール

【料金】全席指定 前売3,000円(当日3,500円)

前売券は宮崎市民プラザとオンライン(ホームページから)で販売。完売の場合、当日券はありませんのであらかじめご了承ください。前売券は8月5日(土)から販売予定。

宮崎市民プラザ 月曜日(休日の場合を除く)、他 7月18日(火)、9月19日(火)、7～10月休館日 10月10日(火)

読めばわかる!

まなぶんかQUIZ

クイズ



クイズにチャレンジして賞品をGETしよう!!

応募者の中から抽選でステキな賞品をプレゼント

●戦国大名トランプ プレミアム 桐箱 (人物説明付)

1名様



●日本の城1055

1名様



Question 1

宮崎市景観重要建造物に指定された「旧阪本家」は、刻煙草の販売の他、何と何を製造していたでしょう。(ひらがな可)



1名様

●歴史人物かるた (かるた読み上げ音声つき)



1名様

●戦国時代スタンプ

Question 2

「天ヶ城」と命名されたといわれる人物は誰でしょう?(ひらがな可)



応募方法

2問のクイズの答えと住所・氏名・学年(職業)・電話番号・ご希望の賞品名・ご感想を書いて下記宛て先までご応募ください。



応募はこちらから

宛て先

ハガキ▶ 〒880-0903 宮崎市太田3-1-31
北一株式会社 「まなぶんか QUIZ」係
メール▶ E-mail: manabunkaquiz@gmail.com
または、二次元コードを読み込んでご応募ください。

締切

2023年7月31日(月)消印有効

当選は発送をもって替えさせていただきます。

お問い合わせ先

(公財)宮崎文化振興協会 TEL.0985-41-7004

前号の答え Q1 4回 Q2 宝塔山(ほうとうざん)

※応募に際し、ご記入いただいた個人情報は、抽選および賞品の発送以外の目的に使用することはありません。
※賞品はご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。

宮崎サンシャインFM
76.1Mhz
www.sunfm.co.jp

毎週水曜日8:00~10:55放送の
"from MORNING"内
「文化振興協会だより」にて催事情報を放送中!!

印刷、刺繍は北一へ
印刷会社ならではの「刺繍」をご提案いたします。

KITA ICHI
北一株式会社 宮崎市太田3丁目1-31
tel:0985-51-5100 email:info@kita-ichi.jp

編集後記



今号は、佐土原歴史資料館と天ヶ城歴史民俗資料館についてたっぷりご紹介しました。両施設とも何度か訪れたことがありますが、佐土原の大広間の兜にキツネがいたことには気づきませんでした！そして、天ヶ城の私のお気に入りポイントには2階の島津義弘の人形です。初めて見る方は「こんなところに！」と驚くかもしれません。私はひそかに、科学館にいるコスモ博士的存在だと思っています。2館合同の収蔵品展では、普段眠っている歴史館のお宝が展示されますので、是非みなさん足を運んでみてください！

【経営戦略課 杉田】

宮崎文化振興協会が管理運営する6施設を動画で学べる「ぶんしんきょうチャンネル」はこちらから!

